



ホ プ ラ

〒952-3424 佐渡市下久知501番地

Tel.0259(27)7352 Fax.0259(27)7130

E-mail kawasaki-es@sado.ed.jp

HP <http://kawasaki-es.sado.ed.jp>

今できる工夫

校長 疋田 敦士

4月6日に学校が再開し、3週間が過ぎようとしています。

久しぶりの学校に加え、新年度の新しい環境ということもあり、最初は子どもたちも少し緊張気味でしたが、毎日学校に通ってくるうちに、次第にこれまでのリズムを取り戻してきました。授業中や休み時間に校舎を巡ると、真新しい国語の教科書を両手で大切に持ち、登場人物の気持ちになりきって音読する姿、広いグラウンドでサッカーや一輪車をしたり、虫を捕まえたりと思いついたことを楽しんでいる姿などが見られます。どの子どもも元気よく、きらきらと輝く笑顔で過ごしている様子に、教育活動の素晴らしさと学校の意義を改めて感じています。



しかしながら、全国そして新潟県でも、まだまだ新型コロナウイルスへの感染予防が余談を許さない状況です。学校においても同様に、こまめな手洗い、うがい、換気や人との適切な距離感など、細心の注意を払いながら教育活動を進めているところです。そんな中、一年生を迎える会の代わりとして、給食の放送で一年生の自己紹介が行われました。「ぼくの名前は〇〇です。好きな食べ物は醤油ラーメンです。」「私の名前は△△です。好きなキャラクターはポケモンです。」等々、スピーカーから流れてくる声は、力強かったり、早口だったり、緊張で少しか細かったりと、顔は見えませんがマイクに向かう表情が目に見え、一生懸命さが伝わってきました。と同時に、「朝から張り切っていたのかな。」「いっぱい練習したんだろうな。」と、顔が見えない分一人一人の声から、気持ちを想像することができました。自己紹介を聞いた他学年の子どもたちも、「ぼくは味噌ラーメン派だな。」「私もポケモンの〇〇が好きだった。」など、話を広げていました。教育活動が制限される中ですが、中止ではなく今できる工夫をすることで、新しい気づきを生むことにつながります。一年生の声に学校中が、ほっこりとした瞬間でした。

「外出自粛、Stay Home」が、合い言葉のようにになっている状況のため、家庭で過ごす時間が長くなります。そんな今だからこそ、できないではなく、家でできる工夫を家族で相談しやってみることで、新しい発見があるかもしれません。